



東亜大学東アジア文化研究所

ニュースレターNO. 8

発行 崔吉城 dgpyc081@yahoo.co.jp

2016.7.1

	<p>研究会 日時：2016年7月30日 (土)14:00~16:00 場所：東亜大学 13号館7階 710号室 講師：反田昌平氏 (毎日新聞</p>		<p>日韓の東亜大学の共同研究会 時：2016.7.8(金) 10:30~ 15:00 場：13号館 102号教室 参加者：(韓) 東亜大学国際法務 学科院生 10名、学部生 10名、教 授 3名 (日) 東亜大学 20余名</p>
<p>下関支局長) [講師プロフィール] 1991年、毎日新聞社入社。東京本社社会部で検察庁などを担当。防衛庁(現・防衛省)担当時は、陸上自衛隊のイラク派遣に伴い、隣国クウェートで取材。2011年4月から西部本社報道部副部長を経て15年5月から現職。</p> <p>「戦争と難民」 米国・同時多発テロ後、アフガン戦争、イラク戦争、シリア内戦、イスラム国(I S)の誕生、シリアからの大量の難民が欧州(E U)へと。フランスでの大規模テロなど、I Sの脅威は今も大きい。中東、欧州におけるテロの現状や問題と課題、深刻な難民問題について語る。</p>		<p>基調講演：李学春 (東亜大学校教授) *通訳あり [講師プロフィール] ドイツ Bielefeld 大学大学院法学科客員教授/オーストラリアメルボルン大学交換教授/韓国労働法学会副会長歴任</p> <p>「不当労働行為制度の日韓比較」 団結権保障構造は憲法上韓国と日本は原則的に同じである。労働紛争を予防するために国家が介入する政策を反映している。日韓において団結権行使の範囲が異なる。韓国ではその範囲を制限することができるが、日本は何の制約もない。日本の労組法は不当労働行為の救済命令の履行強行できるが韓国ではそうではない。</p>	
<p><文部省科研による研究会></p>			
<p>「韓国と台湾にみる日本植民地政策の解放後の社会への展開～人類学と歴史学の学際的な研究」 崔吉城(代表東亜大教授) 原田環(県立広島大名誉教授) 上水流久彦(県立広島大准教授)</p>			
<p>基調講演</p>	<p>「韓国の経済成長：長期推移と国際比較」 金洛年(韓国、東国大学校) 韓国の経済成長は比較的短い期間のうちに貧困から脱出を遂げた。こうした経験は経済成長を目指している開発途上国に対する示唆に富んでいる。朝鮮王朝の末期に経験した開港の衝撃、日本による植民地支配体制と戦時統制、解放後の北朝鮮の社会主義経済体制、韓国の市場経済体制がそれである。朝鮮半島は図らずも他の地域では見られない多様な体制の実験が行われた。韓国経済の歩みを数量的に、概観する。百年間にわたる長期推移の中で各時期を相対化して捉え、こうした時期別差異をもたらした要因が何かを考える。比較を通じて韓国の経済成長の特徴を明らかにする。</p>		
<p>時と場</p>	<p>2016年8月27日(土)午後2時 東亜大学 13号館7階</p>		
<p>討論</p>	<p>木村健二(下関市立大学名誉教授) 古川智(東亜大教授) 瀧田修一(東亜大准教授)</p>		

ワンアジア財団の支援講座
「ITによるアジア共同体教育の構築」

ワンアジア財団（理事長佐藤洋治）から講座に支援助成金を得て日本、韓国、中国、台湾の碩学たちが講義を担当する。東亜大学を発信地として下関から東アジアとの文化交流、文化政策などへの提言、学生や市民との討論を期待している。講義はインターネット上現地の研究者と繋げて映像参加を含め、討論が可能である。公開講座であり、受講学生には奨学金の授与もある。初年度の講座は次の通りであり、多くの学生と市民に参加していただきたい。

回数	月／日	講演のテーマ	講師名
1	10/1	アジアの社会、文化と共同体	崔吉城（東亜大教授） 楠田宏治（同学長）
2	10/8	いま、なぜアジア共同体なのか	鄭俊坤（ワンアジア財団特別研究員）
3	10/15	アジアの人種、そしてアジア共同体	鶴澤和宏（東亜大教授）
4	10/22	アジア言説の再構築と新型共同体の形成について	金俊（中国・浙江工商大学教授）
5	10/29	絵図から見るアジア	川村博忠（東亜大非常勤教授）
6	11/5	民族構成とナショナリズムからの脱出	上水流久彦（県立広島大准教授）
7	11/12	アジア共同体の形成と異文化コミュニケーション	黄有福（中国・中央民族学院教授）
8	11/19	多民族多文化社会の台湾からみるアジア共同体の構築	黄智慧（台湾・中央研究院教授）
9	11/26	東アジアの国際取引ネットワーク	松原孝俊（九州大学名誉教授）
10	12/3	スポーツとオリンピックから見るアジア	姜信杓（韓国・漢陽大学名誉教授）
11	12/10	韓国の近代とアジア	原田環（県立広島大名誉教授）
12	12/17	アジアの社会、言語とアジア共同体の構築に向かって	孫蓮花（中国・大連理工大学准教授）
13	12/24	アジアの美	金田晋（東亜大学教授）
14	1/14	植民地時代の外邦図	小林 茂（大阪大学名誉教授）
15	1/21	やがて世界は一つになる	佐藤洋治（ワンアジア財団理事長）



第5回「楽しい韓国文化論」

「釜山」

1	9月3日(土) 14~16時	木村健二	釜山と下関の人流
2	9月10日(土) 14~16時	魏鐘振	釜山と下関の物流
3	9月17日(土) 14~16時	崔吉城・石本弘之	日韓の温泉文化の比較
4	9月24日(土) 14~16時30分	朴熙喆	映画「国際市場」鑑賞
5	10月2日(日) 14~16時	磯永和貴	知られざる倭城

現地見学会：11月4日(金)～11月7日(月) 釜山市内

<最近の研究活動>

講演会：朴裕河「帝国の慰安婦」（2015年7月25日）

研究会：崔戈「中国のアメリカ政策」（2015年7月18日）

林楽青「幻しい満洲映画」（2016年3月25日）

出版：崔吉城「韓国の米軍慰安婦はなぜ生まれたか」（ハート出版、2015）

読書会：毎週木曜日午後4時～6時、参加者 磯永和貴、倉光誠、林楽青、王軼群、宮琳、崔吉城

〒751-0807 山口県下関市一の宮学園町2-1 東亜大学2号館7階

TEL.083-257-5088／083-257-5179(崔研究室) / FAX.083-256-1485